

「日日是好日」

賀茂小学校長 小田加奈子

四月二十六日（土）、授業参観の折に、一年生は、来てくださった保護者とともにアサガオの種をまきました。ゴールデンウィーク明けには、ほとんどの種が発芽し、かわいい双葉が顔を出しました。毎朝、一年生は、ペットボトルを使って水やりをします。私も水やりをする子たちとともにアサガオを観察しています。ある朝、ふとアサガオから視線を上に移し校舎を見上げると、そこには、開けた窓から外を眺める一年生の顔が。いくつもの顔が横一列に整然と並び黙って外を見ているのです。視線の先が気になって、振り返り運動場に目をやると、運動委員の男の子が三名、これまた黙々とグラウンド整備中。南北に行ったり来たり、ブラシがけをしていました。一年生にとっては、珍しい光景だったのでしょうか。そして、「かつこいいお兄さん」の姿として目に焼き付いたのではないかと思います。

委員会の活動に真面目に取り組む高学年の姿、それを見つめる一年生。どちらの姿も私を笑顔にしてくれるものでした。

「安全第一だよ。」

私は、たびたび子どもたちに言います。教室の中にも危険はいっぱい。水筒の置き方、手提げのかけ方、ロッカーへの物のしまい方など、気になることはいろいろあります。その日も、低学年の教室で言いました。「安全第一だよ。」子どもたちから返ってきた言葉は、

「配膳台？」

「違うよ。配膳台じゃないよ。あ、ん、ぜ、ん、だ、い、い、ち。安全がいちばんってことだよ。」

五月九日（金）、二年生が生活科の一環でいろいろな教職員にインタビューに来ました。ある男の子が私のところにもやってきました。いくつかの質問がありましたが、私への最後の質問は「校長先生の仕事で大変なことは何ですか。」というものでした。私の答えは、「みんなの安全を守ること」です。

『豊橋・学校のちの日』をご存じのかたも多いことと思います。十五年前の六月十八日、野外活動中にカッターボートが転覆し、豊橋市の一人の中学生の尊い命が失われたことから設定された日です。この悲しい事故を忘れることなく、この事故から得た教訓を生かすことを再確認する日でもあります。

二年生からインタビューを受けた日の午後は、豊橋市教育委員会が主催する第一回校長研修会が開催される日でもありました。研修会の講師は、西野友章氏。十五年前に大切なお子さんの命を学校管理下である、野外活動中になくされたかたです。何よりも大切なのは、子どもたちの安全、命を守ること。安心・安全なくして学校の教育活動は成り立ちません。また、子どもたちの安全を守るためには、教職員だけでなく、保護者の皆さんや地域のかたの協力も必ず必要となります。今後とも学校の教育活動にご理解とご協力をお願いしたいと思います。どうかお力をお貸してください。